

2022 年度

自己点検・評価報告書

令和 5（2023）年 3 月 31 日

株式会社万和教育グループ

万和国际教育学院

万和国際教育学院 自己点検及び自己評価の実施について

1 根拠

日本語教育機関の告示基準第 1 条第 1 項第 18 号の規定に基づき、教育水準の向上と適切な業務運営を継続させるため、本校において「自己点検・自己評価の実施要綱」を定めて実施する。

2 実施主体

実施要綱で「学校評価委員会」の設置を定め、委員会が実施主体としてこれを実施する。

3 委員会の構成員

校長を委員長として、以下常勤の全教職員で構成する。

4 点検・評価項目

法務省による「日本語教育機関の告示基準」を参考とし、別紙「自己点検及び自己評価項目」に沿って点検・評価を行う。

5 評価方法

項目ごとに下記の 4 段階で評価する。

A：達成されている。

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。

C：達成に向けて努力している。

D：達成されていない。／必要性に気づいていなかった。

6 実施時期

毎年、3月末日に実施する。

7 評価報告書の公表

自己評価報告書については校長決裁とし、決裁後、本校の設置者である株式会社万和教育グループへ提出した上で、当校ホームページにて評価報告書を公表する。

1 教育理念・目標・育成人材像		
1.1	理念・目的・育成人材像は定められているか。	A
取組	定められている。	
1.2	学校の将来構想を抱いているか。	A
取組	安定した学生の受入れと、進学実績を重ね、大阪を拠点とする日本語教育機関としての信頼を構築することを目標としている。	
1.3	理念に基づく教育が行われているか。	A
取組	理念に基づくカリキュラム作成および授業の見直し、改善に取り組んだ。専任、非常勤の導入研修においても理念を共有し、理解を深めてきた。	
2 学校運営		
2.1	運営方針や事業計画が定められているか。	A
取組	定員の変更申請に合わせ、入学年度の募集計画を制定し、基準にのっとったクラス設計を行ってきた。また、運営に係る募集・教育・生活指導の年度の目標を定め、状況を教職員全体で共有する為の会議を毎週実施してきた。	
2.2	運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか。	A
取組	業務分掌を明確にし、検討および意思決定を迅速に行うための体制を整えている。社内共有チャットサービスを活用し、必要な情報を常に共有することで意思決定に必要な判断を迅速に行う取り組みを進めてきた。	
2.3	人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか。	A
取組	就業規則に人事制度および賃金制度について定めている。職場環境における課題について、現場からの意見が出しやすい体制を整えている。	
2.4	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	A
取組	社内共有システムを活用し、社内コミュニケーションの効率化が図られている。	
2.5	施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう告示に基づき整備されているか。	A
取組	毎月、設備の自己点検を実施し、危険個所の有無について確認を行っている。また、消防機器、エレベータ設備の点検を外部委託し、定期確認を実施している。	
3 教職員		
3.1	教育理念・目的が教職員間で共有されているか。	B
取組	講師研修や教職員の定例会議で継続的に共有する。授業のフィードバック、教材の作成および見直しを通して、理念や目的に触れながら意識づけができるよう働きかける。	
課題	講師会、講師研修会で理念について改めて伝え、理念に掲げる「活躍する国際人」についてそれぞれ考えを共有する場を設けた。	
3.2	教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか。	B
取組	第1回講師研修会を実施し、個人の成長目標を立てるなどの研修を行った。	
課題	今後の実施計画がまだ立てられていないため、次年度に向け取り組みたい。	

3.3	教職員評価を行っているか。	C
取組	目標設定、定期面談を行い、年度末に振り返り評価を行う。	
課題	昨年度の試験運用をもとに検証し、目標設定シートの見直し、フローの再構築を行った。次年度より評価を実施し、結果を検証する。	
4 教育活動		
4.1	教育理念に沿ったカリキュラムが体系的に編成されているか。	A
取組	教育理念に沿ったカリキュラムが体系的に編成されている。	
4.2	授業評価の実施・評価体制は整備されているか。	C
取組	次年度からの実施に向け、評価項目の検討を重ねてきた。	
4.3	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか。	B
取組	持続的に成長、能力を高めることを目的とした講師研修会の第一回を実施。	
4.4	成績評価は適切に行われているか。	B
取組	基準に基づき評価を行っている。評価をつける上での課題について検討、見直しを行う計画を立てた。	
課題	次年度、成績評価基準、テストの妥当性など検証、見直しを行っていく。また、評価の考え方など共有する研修会を行う。	
4.5	各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか。	B
取組	日本語能力試験対策の補講や特別授業を実施した。効果があったのかデータ分析やアンケート調査を行い、検証し、今後の試験対策の指導へ繋げたい。	
5 学生支援		
5.1	進路・就職指導に対する体制は整備され、有効に機能しているか。	A
取組	進路指導担当による個別指導および1年目からのキャリア授業を実施。進捗状況は定例会議で教職員に報告している。	
課題	次年度より新たに進路指導を担当する講師へ指導方針および内容を共有する。また、キャリア授業2年目実施後に見直し計画を立てる。	
5.2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか。	A
取組	学生の学習面の面談を適宜行い、必要に応じて通訳を入れ、学生自身の意思の確認などを行った。また、翻訳資料を増やし、学生への言語サポートができる体制を整えている。	
課題	学生数が増えたことから、今後発生する学生の相談に関する情報・解決状況を共有し、次年度以降の体制強化を図る。引き続き、翻訳資料の作成などに取り組む。	
5.3	学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う組織体制があり、有効に機能しているか。	A
取組	健康診断のフローを作成し、在校生全員の健康診断を実施。再検査が必要な学生への指導を行った。また、講師研修にて非常勤講師への災害時の避難について共有を行った。体調不良の学生には病院の紹介や翻訳サポートなどを行い、社内で共有し、継続的に状況を確認している。	

課題	事故や病気などの対応マニュアルの作成、健康管理の把握、記録方法については今後も検討を続ける。	
5.4	学生の生活環境への支援が整備され、有効に機能しているか。	A
取組	住居の情報や手配をサポートし、生活上必要な情報（犯罪防止、健康面など）を提供している。	
5.5	保護者と適切に連携しているか。	A
取組	緊急時や、生活指導における必要に応じ、保護者に連絡が取れる環境を整えている。	
5.6	卒業生への支援体制はあるか。	B
取組	卒業生への証明書発行を円滑に行っている。	
課題	情報提供や進路サポートについては、一、二期生が卒業生したばかりであるため、まだ実施しておらず、来年度実施に向けて計画を立てる。	
6 在籍管理・生活指導		
6.1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか。	B
取組	入学時のオリエンテーションや長期休暇前の注意喚起、ビザ更新の事前説明、更新時の書類指導を行い、ビザ更新に関する知識や日本での生活のルール、学校生活の注意事項を4言語で翻訳するなど学生が理解しやすいよう取り組んでいる。本年は入国時期のばらつきにより、学生に理解度に差が生じた。	
6.2	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか。	A
取組	入学時のオリエンテーションや、授業において日本の文化や習慣、生活に必要な情報を提供した。	
6.3	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか。	B
取組	入学時のオリエンテーションにて、法令遵守に関する注意事項を説明し、また長期休暇前に毎回、注意喚起を行い、犯罪の事前防止に努めた。6.1に同じく入国時期のばらつきにより、学生に理解度に差が生じた。	
6.4	常に最新の学生情報を把握しているか。	B
取組	毎月学生証アプリを利用しアルバイトの状況確認を行い、また、住所や電話番号などの変更時には1週間以内に学校に報告するよう指導した。学生の情報変更時における学校への報告までの期間に個人差が見られたため、引き続き迅速に報告をするよう指導を継続する。	
7 危機管理・安全		
7.1	危機管理体制が整備されているか。	A
取組	事故発生時の対応マニュアルを整備し、また、地震、火災などの防災訓練を年2回実施し、学生及び教職員は緊急時の対応について理解を深めてきた。 また、学生の安否確認が迅速に取れるよう、学生証アプリのメッセージ機能の活用を進めてきた。	
7.2	火災・地震・台風等の災害発生時の避難方法、避難場所を定めているか。	A
取組	定めている。	

7.3	気象警報が発令された場合の措置を定めているか。	A
取組	警報発令による休校判断の決定フローを定めている。また、学生証アプリのメッセージ機能を使用し、教職員および学生へ迅速に連絡できる体制を整えている。	
7.4	災害等に対する避難訓練を定期的実施しているか。	A
取組	避難訓練の流れについて検討を進め、定期的な学生の訓練と共に、全教職員で建物内の避難具や避難経路を直接確認し、避難時に気をつけるべき場所の確認を行った。	
8 学生募集と受け入れ		
8.1	学生の受入方針は定められているか。	A
取組	各学期の受け入れ人数を定め、計画に基づき募集を行っている。講師採用の計画と連携し、万全な体制で受け入れられるようにしている。	
8.2	学生募集活動は適正に行われているか。	A
取組	募集要項に出願要綱を定め、すべての学生において面接を行いながら選考を行っている。紹介機関についてはHPやFACEBOOKなどの募集情報を調査し、また面接時に誤った情報を受けていないか、確認を行っている。	
8.3	入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。	A
取組	全ての国籍からの出願者に対し、出願要綱に従い、書類選考、および面接を行っている。	
8.4	告示に基づいた適正な定員設定及び在籍者数になっているか。	A
取組	告示に基づいた適正な定員設定及び在籍者数での募集および授業運営を行っている。	
9 財務		
9.1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	A
取組	入国規制が緩和し、入国予定者が円滑に入国、入学されていることから、計画に基づいた予算計画及び実施を行い、収益の上がる体制を整えた。	
9.2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。	A
取組	予算計画において、学生募集状況における収支の詳細、勘定科目ごとの経費予測を立てている。次年度計画策定時には前年度の計画と実績を比較し、計画策定の精度について検証を行う。	
9.3	財務について会計監査は適正に行われているか。	A
取組	外部の会計士に決算の確認を依頼している。	
9.4	財務情報公開の体制整備はできているか。	B
取組	財務基盤の安定以降、日商リサーチへの公開を実施する。	
10 法令等の遵守		
10.1	入管法を中心とした各種法令、告示及び設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	A
取組	入管法を中心とした各種法令、告示及び設置基準等を遵守し、適正な運営をしている。	
10.2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	A
取組	全体会議にて個人情報の取り扱いに関するガイドラインおよび、事故発生時の対応マ	

	ニュアルを整備し、共有を行っている。	
10.3	自己点検・自己評価を公開しているか。	A
取組	当校HPにて公開している。	
10.4	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか。	A
取組	報告スケジュールに基づき提出漏れのないよう管理担当者を2名以上定めている。	
1 1 社会貢献		
11.1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。	A
取組	短期在留者や、個別での日本語教育を希望する学習者などへ広く日本語教育のサービス提供を行っている。	
11.2	SDGsに取り組んでいるか。	A
取組	日本語教育機関としてSDGsに向けた本校の取り組みとして <ul style="list-style-type: none"> ・すべての人々が男女の区別や地域に限定されず、質の高い教育を受け、大学を含む高等教育への平等なチャレンジができる環境を構築する。 ・共に学び、互いに理解し、交流することで国際人としての礎を築き、将来にわたって活躍できる人材に成長すべく、自立した社会人を育成する教育を進めていく。 ・留学生に限定せず、生活者としての外国人に対して、基礎的な日本語を学ぶ機会を提供し、だれも取り残さない持続可能なまちづくりへの貢献をする。 以上を掲げ実践した。	